

寒小ギク“姫小町”の柳芽発生におよぼす2・3の要因

北村 信 弘 (長崎県総合農林試験場)

KITAMURA, N: Factors Affecting the Formation of Crown Bud on Chrysanthemum “Hime-Komachi”

1月出しの寒小ギクの中で“姫小町”は重要な品種であるが、柳芽が多発し、開花時は低温期であるため不開花が多く、また高温期にはさし芽の発根が悪くなるので、栽培農家ではさし芽、定植が次第に前進しつつある。低温による不開花は施設栽培とすることで解決できるので、柳芽の発生原因について定植時期(摘心時期)、曇雨天時の補光の有無、栽植密度、施肥量について検討した。

1. 材料及び方法

寒小ギク“姫小町”をL₁₆直交表を用い、定植期(摘心期);6月26日(7月3日),7月26日(8月3日)曇雨天時補光;有,無 栽植密度;粗(18×20cm),密(15×15cm) 施肥量;少肥(N,P,K各2kg/a),多肥(5kg/a)の4要因,各2水準とし,1区1.62m²,1株3本仕立て,粗植区90本/m²,密植区144本/m²で各区1m²ずつ調査した。補光は100W白熱灯を1.62m²に1灯,6月定植区が7月9日~9月28日,7月定植区が8月17日~10月15日の曇雨天時の日の出,日の入の前後45~50分間実施した。

2. 結果及び方法

6月26日定植(7月3日摘心)ではほとんど全枝が柳芽となったが,7月26日定植(8月3日摘心)では43.3%が柳芽となり,6月定植に比べ7月定植では半分以下の発生であった。補光,栽植密度,施肥量の各処理における柳芽発生率は,それぞれの2水準間に有意差は認められなかったが,栽植密度と施肥量の交互作用は5%水準で有意差が認められ,密植・多肥では柳芽の発生が85%と多く,他の組合せ(密植・多肥,粗植・少肥,粗植・多肥)は70%前後でやや少なかった。

開花率は栽植密度のみで差が認められ,密植区では生育遅れの枝は光線不足で花芽が着かず開花率が低かった。

開花の早晩には定植期,補光の有無,栽植密度が影響し,早く植えた区が早く開花し,曇雨天時に補光したり,密植して光線透過が少ないと遅く開花した。

各要因が切花性状に及ぼす影響をみると(第2表),定植期では,柳芽発生後側枝が長く伸びたため,柳芽発生の多い6月定植の方が切花長,切花重とも大であった。節数も6月定植の方が多かった。補光の有無では,切花重や節数には差が認められなかったが,補光すると節間伸長を促進し,切花長が長くなった。栽植密度と施肥量

は,これらに対して影響を及ぼさなかった。

以上の結果,“姫小町”は早い時期の定植,摘心で柳芽が多発し,曇雨天時に補光して短日条件になるのを防いでも柳芽発生を抑えきれないことから,ある一定の苗齢(葉数34~35枚)に達すると日長に関係なく花芽分化を開始するが,高温,長日条件下では花芽の発達を抑制され,柳芽になるものと思われる。また,少肥栽培で過密仕立てとなった場合も栄養不良,光線不足により柳芽が多くなる。しかし,高温期のさし芽では発根が極端に悪くなるので,早目にさし芽し,2回摘心等で最終摘心を遅らせ,花芽の分化,発達を涼温・短日時期に行わせると柳芽の発生は少なくなるものと考えられる。

ただ,藤田,西谷¹⁾によれば,8月20日に摘心した場合,柳芽の発生は8%と少なかったが,切花率が20%と極端に悪くなるのであまり遅い摘心時期にも問題が残り,低温でも開花するような系統の選抜が必要であろう。

第1表 各要因が柳芽発生及び開花に及ぼす影響

要因と水準	柳芽発生率 %	開花率 %	平均開花日 月 日
定 植	6月	99.6	1 9.9
	7月	43.3	1・22.3
補 光	有	73.1	1・18.0
	無	76.2	1・14.3
栽植密度	粗	73.0	1・14.9
	密	76.5	1・17.3
肥 料	少	79.1	1・15.6
	多	71.0	1・16.6
L.S.D.	0.05	8.9	2.0
	0.01	12.2	2.9

第2表 各要因が切花性状に及ぼす影響

要因と水準	切花長 cm	切花重 g	節 数 節	
定 植	6月	109.4	95.0	36.4
	7月	83.9	58.5	34.2
補 光	有	100.8	79.2	35.0
	無	92.5	74.3	35.7
栽植密度	粗	96.3	80.1	35.8
	密	97.0	73.4	34.8
肥 料	少	97.1	77.5	35.8
	多	96.2	76.0	34.8
L.S.D.	0.05	5.9	8.2	1.3
	0.01	8.7	11.9	1.9

引用文献

- 1) 藤田政良・西谷年生: 花き試験成績概要(東海・関西), 21, 1979.